(二十八日夕刊)

磐城新聞

休刊 大祭日 第三日曜
定價 (壹ヶ月 壹圓五十錢) 郵税十錢
廣告料 (一行五號活字 金五十錢)
發行兼編輯印刷人 遠藤能輔
發行所 磐城國平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

蟲の音を聞きて（上）

やなさり生

静かな夜を降る雨、雨やから細く流れてくるこほろぎの音、錆いた私の心にひゞくすべては哀れです

片戀に終つた私の戀は、私を感傷的な人間に陥らして仕舞つた。現在の私は、眞から快活だつたそして愉快に輝かしかつた過去がなつかしい物の一つです

內心に堪い難き煩悶をつゝんで快活をよそほふ今の私の生活の如何に若しきものであるか？それは自分自身以外に誰も知つては居らぬであらう

四圍の人達は、必ず私を幸運兒否幸運兒とまでは行かなくとも相當にめぐまれた、即ち物質的に、精神的に、なんの缺如もない人間として見て居るであらう私は確に物質的には左程の不幸者ではないであらう（それは周圍の多くの人々から見る時）だが、自分としては物質的にも惠まれた者とは少しも思はれぬ。多くはお互が自分の境遇に滿足を感じぬと同樣に

精神的には、何處の誰よりも私は惠まれざる者としかおもはれ得ない

惠まれぬ運命の星の下に生を享けて來たのであらう自分は、期待の悉くを裏切られて憂愁の深みへとどん〱流れ落ちて行きつゝあるのだ、五ケ月間、心に秘めて悩み續けた美緒子、可憐な彼女は遂に自分の愛の告白を冷やかに退けて仕舞つた

私の五箇月間の苦惱との戰ひは遂に私自身の心に暗黑な一沫の憂愁の波紋を起させるにしか役立たなかつたのだ

それ以來の私は精神的に如何なる變化を來したか、それは私をして厭世的な氣分を起さしめ、感傷的な心機を誘導するの資となつた

ゐの女は私を精神的の不具者にし、光明の社會から無明の社會に失墜せしめ、そして現世の精神的不幸兒としたのである

だが私をして、精神的不運兒にした事は何も彼女の責任ではない。私自身の心から起つた思慕の情（彼女から私へ思慕したのでなく）を彼女に告白して彼女自身の心の動きを率直に私に告げた事が私のその時の心に合致しなかつたが爲めに私は無明の世界に顛落したまでの事で、彼の女としては何も私を無明の世界に導かうとも、精神的不運兒に爲さうとしたと云ふやうな心根から出た事でないのだから……

それは自分、即ち私が第一の責任者である。自分が思慕して受入れられなかつた爲めに自分で自分を暗黑の世界に引入れたのである心の弱者である禍ひ却て禍に轉ずる丈けの妓倆をも有せずに戀した私が惡かつたのだ。それだけに私は彼の女を怨むことも、呪はしく思ふことも出來ぬ却て幻影の彼女を追ふて、彼の女の未來多幸なれと心から祈るのである

短歌

佐藤清長

吾がこと
惱ましき
想へ昂ぶり寢つかれぬ
夜を怖れり日暮頭は
ゆれ昇る
煙りを追へつ吾瞳
眞上に漂浮白雲を見る
ゆきづれの
入激しけれ夜の街よ
あぐむ心を持ちてあゆめば
つまずきて
轉びしまゝに泣き耽けり
悲しみ持ちて歩みしその日
靜やけ
降りまして居し夜の雨の
淋しき破る汽車の遠鳴き
只管に
湧をば戀せり病療へ
なす事終ねて家に居たれば
哀れ身を
持てあませしか彼の君の
心を拾ふ術のあらめや
うつむきつ
歩めば胸にあまりある
音せぬ惱み眼頭に湧き
何事の
悲しき兆しある如く
昨夜の夢をいたく恐れり
終日は
昨夜の夢に捉はれて
醉へたるに似し心苦しく
夢さめて
眼をいたたつ電燈
眞白き光り吾が眼ざさす

暦の話

新暦八月二十九日
舊暦七月二十九日

▲一白 事毎に思惑の外れて失敗に終り易き日▲二黑 何事に付けても面白く伸び行く大吉日たり▲三碧 突撃的猛進は却て事を破るの恐れあるべし▲四綠 元氣旺壯なる日にして新しい事に尤もよし▲五黃 意圖を改め新規方面に進出するによき日▲六白 不自由勝の事のみ多く生じ來り進まれぬ日▲七赤 固陋頑迷に傾くときは四圍より故障を受く▲八白 正路を踏み自重して進む時は大吉日と成る▲九紫 何事も細かき所に目を配り遺漏なき樣注意

小説　死を超ゆる者 (99)

三上於菟吉作　布施平八郎畫

邂逅（六）

とき子はまだがつかりと俯向いた。彼女は自分の弱さが自分をけがれのどん底に投げ入れ、死へまで誘ひそして今は死ぬことも出來ない身の上におとしいられたのを今更のやうに痛感した。彼の女は自分の弱さを呪つた。けれどもその弱さを乘り越す力は先天的に與へられてゐないやうに思はれた。

和子は消ね入るやうに座つて居るとき子の姿を眺めた時、何日か深夜の自動車の中で自分の身を打開け話をして自分が櫻木家の家庭で姑から良人からどのやうな待遇を受けてゐるかを話し泣いた時彼の女は弱い者ゝ——のろはれた女性の命糧は忍從と祈りであるといふことを話したのを思ひ出した。神はやがて死に依つて惱める靈に和ぎが與へる事であらう……その諦めい道德をすら保ち切れなくなつたとき子を見て彼の女は相哀れむ思ひで胸が裂けさうになつて來た。

「村越さん、あなたは食物でもしてゐらしやいな三人でいろ〱話したいことがあるから。」と彼の女は言つた

村越はやつとの事で解放されたと言ふやうな顔をして立上つた。三人からなぐさめられて我れと我が身を亡ぼさうとするやうな荒々しい事は思ひ捨てた。そしてその朝まだ九時がすこし過ぎたばかりのころ和子と紗子とは進まぬとき子をせき立てるやうにして宿を出た三人の女連れは濱に沿ふた丘の小徑を櫻家の別莊の方へと歩いて行つた。とき子の歩みは居所へ送られる羊のそれに似てゐたがしかし今迄の絶對的な孤獨に比ぶれば彼の女は少からず勇氣づけられた境遇になつてゐた。悲しみと憂ひとを進んで別けて呉れやうとする親切な女友達を二人も得てゐた。その上何よりも勇がの國の○市で健在してゐるといふ樣な消息を知つたことが彼の女にとつては何よりも力であつた。彼の女は兎も角も一應みんなの勸めに從つて、あの厭はしい考へるも汚らはしい良人の側へ歸つた上、さきの出よう一つで今度ははつきりと身の振方をきめよう……さう思ひ定めたのでなか〱に氣安かつた

三人は美しい松林の丘を五六町も歩いた、路は岬の根方を廻つてたう〱閒の別莊の前まで彼の女等を導いた。

「結構なお別莊ですこと」

和子は清洒とした夏屋敷を樹の間から眺めた時言つた。

「ひとりでゐたら、どんなにうれしいところだらうと何度も思ひましたわ」と

とき子ははかない苦しいほゝ笑を浮かべて答へた。

昨夜の暴風の吹き荒れた前庭の掃除をしてゐた爺いやゝ近づいた三人を見つけて、眼を見張るやうにして叫んだ。そうして何心なく爺やの眼はこの三人の女達にそゝがれて不思議にとき子の前につか〱と歩んで來た

廣告

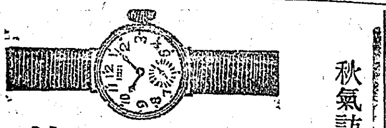
芳醇無比
白馬の雪
松本德一吟釀
電話(平)七五二

痔の最高內服藥 ダイサン錠
鼻のクスリ チクノール錠
平町五丁目角
山野邊藥局

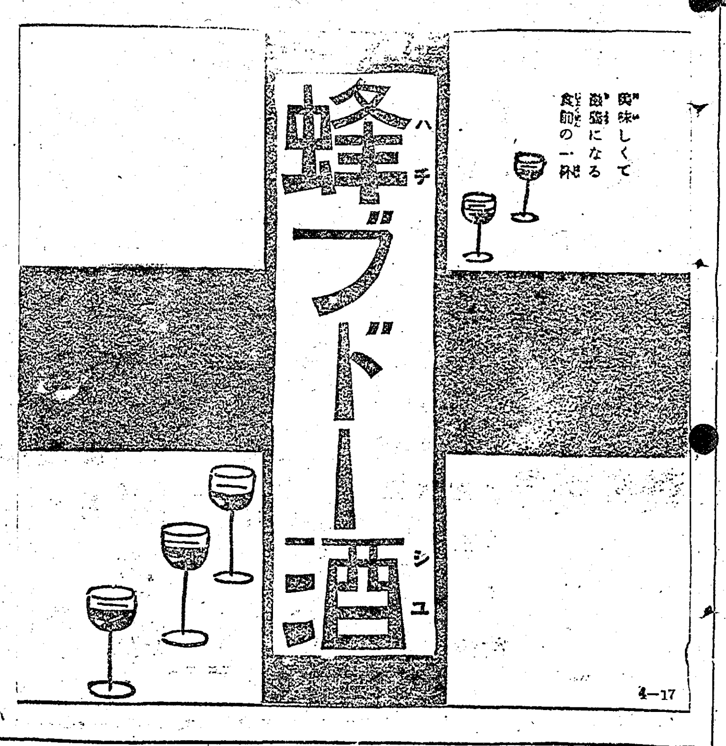
平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

毛糸
本年は昨年より御安う御座います
毛糸見本帳進呈
一オンス 十五錢 十八錢 二十五錢
(中細・極細・スコツチ等……澤山入荷致しました
平町田町 藤田女學校隣
ハシモトヤ糸店

相帽と冬帽
モダーンな若人向
スマートな紳士向
東帽製フアー 七、八〇
イタリー製ペロアー 七、八〇
ウール 一、五〇ヨリ
ツルヤ
平四丁目

貴金屬
各國時計
眼鏡類
レコード
針先各種

時計、蓄音器修理ハ早ク良ク仕リマス
高級ビアス號蓄音器特約店
金光堂時計店
平町五丁目 電話七三六番

秋氣訪れて涼味肌に迫り月光の下虫聲頻りに競ふ秋の夜長を蓄音器にて？



高久病院
平町田町
電話五〇三番
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科、小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

貸切自動車の御用命は昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は 三四三番
サシミ

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり葉書なり戴けば社員が御伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話 六〇三番 五四一番

平町 紺屋町
吉田眼科醫院

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科 外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

營業種目
内地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達請負 其他
㊄ 佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話三三五番

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ 生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥舖
たはなし 三番

風味の良い
一の井の松茸フライ
新料理
ハムとベーコン
ソセージとゲンバイ
一の井
電話一六七

平町會の利權組四名が上水道起債認可反對の暗躍

某代議士を惡用して猛烈な運動

町民監視を怠るな

平町役場では人口の增加と共に上水道の給水に不足を告げ且つは將來の發展に備いる爲め水道永遠の計劃を建て二ケ年繼續事業として上水道の擴張工事を施行すべく本年度豫算に計上する一方起債認可方を內務省に手續すると同時に伏見町長、遠藤助役並に町會議員中の委員が屢々上京當局に陳情運動を試みた結果政府も緊急缺く可らざる事業の性質を諒とし其の認可も目捷の間に接迫した今日豫ねて裏面に暗飛中なりし平〇〇〇〇會社は恐る可き魔の手を延ばし町會議員中の利權屋の巨頭某外之れが走狗となつて常に犬馬の勞に服してゐる町會議員三名(一名は東部二名西部)は這般來屢々上京し某代議士を惡用し平町の申請に係る起債許可反對の運動を開始したが町民は斯かる町會議員の存在と惡魔の如き陰謀術策とに對し最も嚴重な監視を要すべきであらうと愛町の識者間に論議されてゐる

今度は暗合電報で豫算緊縮を强要

亂暴な知事の態度に 郡下町村長激昂

石城郡各町村豫算に對し一割緊縮を强要した小柳知事は廿五日突如町村當局に對して暗合電報を以て既に提出されてゐる實行豫算の控除費目の內容の說明を要求し町村長の出縣を促し來たが石城郡下各町村長は何れも非難の聲を上げてゐる、即ち小柳知事の發した此の內容說明の爲めに町村長が出縣せよとの命令は當初知事の强要した豫算の一割緊縮し得たものは全縣下を通じて僅に二、三ケ町村に過ぎず殆んど大半の町村は最高五、六分から二、三分程度の緊縮にしか過ぎず又窮實に於いて

極度に切詰てある町村豫算の一割を緊縮する時は町村自治體の破壞にも等しい暴狀を現出する事ともなり、提出された實行豫算以上の緊縮は全く不可能事であるが飽まで當初一割緊縮を固守する小柳知事は實行豫算控除費目の內容說明に名をかりて町村長を出縣せしめ削減額の增加を强要せんとの肚裡であるものゝ如くで然も町村に此以上の緊縮を要求しながら町村長の出縣を命ずるが如きは殊更町村長の出張旅費を浪費せしむるもので石城郡下町村長が出縣する時には

一人當り 廿圓以上の旅費を要すべく全縣下を通じて此れに要する旅費額は蓋し甚大なものであらうと言はれ口に緊縮を唱へながら此の莫大な旅費を浪費せしめんとする小柳知事の態度は眞に矛盾極まるものであるとして全郡下町村長間には火の如き反感の聲が上げられてゐる

潮聲會詠草

第一 課題吟 互撰

△二 西瓜

人影や西瓜畠の薄月夜 文狂
西瓜種虫鳴く土間にこぼしけり 何鳴
賣り牟店を埋むる西瓜かな 晚霞
西瓜灯籠さげて虫賣る女かな 中納言
西瓜守祭の夜を緊張す 同
紅さした口むつかしき西瓜かな 江亭
わけもなく轉がして見る大西瓜 松堂
發撥の野球勇まし西瓜割る 守穗
美しう切り並べたる西瓜かな 一夢
夜盛りや堂の下なる西くわ賣り 孤舟
更けて行く月に濡れたる西くわ畑 天仙
献上の西くわ御殿を轉げけり 文狂
どや〲と板の間に來る西くわかな 一夢
涼しさの風味こぼるゝ西くわかな 江亭

△三 鳳仙花

すたれ行く驛のほとりや鳳仙花 文狂
垣外にあかん埃や鳳仙花 一夢
張板の風に倒れへ鳳仙花 中納言
名に愛でて貰ひ植えけり鳳仙花 晚霞
源平の花みだれ咲く鳳仙花 閑月
鳳仙花花をかむりて幹太し 何鳴
あかをくむ袖に散りけり鳳仙花 江亭
咲くまゝに庭のすみなる鳳仙花 孤舟
汽車去つて小驛閑なり鳳仙花 天仙
鳳仙花桶屋の弟子に折られけり 流堂
換羽期の鷄赤肌や鳳仙花 萬袋
飯鍋の尻干す垣や鳳仙花 天仙
漢學の師匠老たりほう仙花 文狂

商業補習夜學

平商業學校では例年通り十月一日より明年二月末日まで商業補習夜學を開設するが月謝は三十錢なほ講師は全部平商校教諭之に當ると

無斷で道路を使用する者

平署で嚴罰

最近平町に於ける各商店では警察署或は土木監督所の許可を得ずに道路を無斷使用する者が多く一間以上道路を占用してる者は枚擧にいとまがない程であり、平署では自動車事故その他交通事故の頻發の原因は此の道路の無斷使用からであると道路の取締を嚴重に勵行する事となり此の程數名を告發したが、例の新設魚市場の道路使用も此の爲めに處分される事になつたので平署としては無斷にて道路を使用した者に對しては道路取締規則違反として片ッ端から告發をなし處分する方針であると

石城自慢のメロン

本年は上出來

石城農學試驗場分場のカータースエメルトゼム及サフトンスカレット英國種メロンは近年稀に見る上出來で一個四百匁から五百匁六百匁に達する見込み値段も高い時は百目一圓以上郡下では泉村志賀澤之助氏外三名が栽培してゐるが昨年東京に開かれた全國メロン協會主催の品評會に出品し二等賞を得て以來一躍福島メロンとして東京方面に移出され相當聲價を高め年收も八千圓に達し將來最も有望なる園藝と見られてゐる

◁◁◁◁◁◁◁◁◁◁ 駈落者を追ひ過ぎた亭主

戀女房を奪はれた若い鮮人

けふ平署受付口の愁嘆場

平署の受付口に二十八日午前十一時勞動服を着た一人の若い朝鮮人が慌しく駈り込み「何ふぞ大切な私の女房を搜して下さい」と願ひ出た、係官が事情を訊すと此の男は朝鮮慶尙南道長本面山生れ朴宗錫(三二)と謂ひ戀女房金斗蓮(二八)を携へ一大成功を胸に日本本國に來て見ると思ふ樣に稼ぎ口かなく本年夏以來北海道夕張炭礦朝鮮飯場朝柄勳方に坑夫を働らき可愛女房運の爲めには

如何なる 勞困も厭はず奉仕してゐるうち運は同じ飯場の坑夫で朝鮮生れの朴基善(三五)と情を通じ兎角亭主宗錫の心を離れんとするので宗錫は無情をなじり何とかして妻の心を引き戻さんとしてゐるうち姦婦運と姦夫基善は去る二十三日夜突然姿を晦まして了つた兼ね〲聞いた所によると情夫基善は以前石城郡內鄉村飯場近藤丹三郎方にゐたことがあるので是れはてつきり

兩人手を 携へて前記近藤飯場方に逃走潛伏してゐるものと思ひ込み喪家犬の如く猛り立つた夫宗錫は取るものも取り敢えず同夜直行で三日三晩姦婦姦夫の後を追つて石城に來るや兩人の隱れ家と覺しき內鄉村の近藤飯場を尋ねて見ると來てゐないとの事に駈け落ちた兩人よりも尋ねる宗錫の方が一足先きに來過ぎて了つた事が判り何とか夕張警察に

紹介して 妻を尋ねて下さいと淚を流して嘆願したが直ちに夕張に引き返すか直接夕張署に搜査願を出す方が早いと懇々諭されて引き下つた

酒造石の制限は各自任意に決す

一割減石は不可能のこと

石城酒造組合總會

石城酒造組合では大日本酒造組合の決議に基き本年度の酒造石高を各自一割宛を減石し生產制限による市價の推持をなすべき方針のもとに二十七日午前十時より平稅務署樓上に總會を開き種々協議したが酒造石高は各釀造人の經濟的關係により之れを一律して增減せしむる事は到底不可能の事であると云ふ議論が多く結局本人の任意に決した、尙ほ前組合長永山和平氏に退職慰勞金三百圓を贈呈する事となつた

四倉市場を邪魔する奴

組合飽迄對抗

石城郡販賣利用組合經營の四倉繭市場では秋蠶の增收割合から見て秋蠶の取扱高は廿六日までの取引高はわづか一萬二千貫で增加どころか昨年同期に比し五千餘貫減少となつたが右は場近場外取引する者續出し結果その背後には犬猿關係にある某製糸家があるらしくこの際徹底的に對抗するため目下關係者總出動で現行摘發につとめてゐる

教育國庫金が增せば

平町で浮ぶ五千圓

主として戶數割に及ぶ

町當局の成算

平町では義務教育費國庫負擔金一千萬圓增額が明年度より實現されるとなれば戶數割と家屋稅とを減額することになる

模樣で實 施に當つては地方町村の豫算にたよぼす影響は頗る大なるものがあり伏見町長初め遠藤助役も夫れ〲目論見中であるが同町の特別稅戶數割は九萬五千百三十圓家屋附加稅は一萬四千八百八十圓で平町としては決して少額とはいへ得ないがこれにより右負擔額增額により戶數割家屋稅を五分減額するとせば戶數割四千七百七十六圓五十錢家屋稅は七百四十四圓となり納稅戶數四千六百三十四戶に割當れば一戶平均戶數割一圓三錢

家屋稅は 二千人で三十七錢台計一圓四十錢減稅となり合せて總額五千五百二十圓五十錢の減額となり納稅者から見れば實に少くないばかりでなく負擔額增額に各方面に及んでゐる關係上その成り行きは一般から注目されてゐる

軍人分會代表

濱三郡の選手決定

濱三郡在鄉軍人聯合分會では今秋明治神宮外苑に催される全國在鄉軍人劍道、銃劍の出場選手豫選大會を二十六日午前十時より富岡町公會堂に於て劍道は坂本茂氏審判銃劍は福島聯隊區司令部岩淵曹長審判の下に行はれ午後一時閉會した當日の選拔者左の如し

▲劍道 薬谷久太郎(石城) 齋藤今朝治(相馬)
▲銃劍 薬谷久光(石城) 清水清久(相馬) 水谷今朝中一(石城)

渡邊にチブス

石城郡渡邊村の腸チブスは一時猖獗を極め每戶幟を立てゝ厄除の神信仰をなす等大騷ぎを演じ漸く下火となつた所此程に至り亦もや二名發病し更に上遠野村深山田小野保次も隔離されたが二十五日に至り錦村江栗にも發病者現れ星酉治(三〇)が隔離された

記者募集

中學校三學年修業程度の學力ある眞面目にして身体强健なる青年記者二名を募集す(但し平町在住者に限る、保證人を要す)希望者履歷書持參本人午前中に來社あれ委細面談
電話、書信の交涉絕對謝絕

營業部員

年齡二十二歲以上、身体强健にして新聞業務に趣味を有する眞面目なる營業部員一名を募集す希望者は履歷書持參本人午前中來社あれ、給料その他委細面談

磐城新聞社

源吉捕はる

平署で取調中

石城郡豐間村大字薄磯地內を二七日夜九時頃擧動不審の男を平署員が逮捕取調べると田村郡大越新田源吉(四〇)と稱し二十二日同郡七鄉村佐藤春吉方から十圓を竊取逃走して來た事を自白したが餘罪ある見込で取調中

平署の科料一束

何れも交通違反

平署では近來交通事故の頻發に鑑み嚴重取締の手を緩めないが二十八日即決科料を言渡したもの左の如し

○平町トギ町鐵工職那須德藥(三八)は去る十九日古カジ町街路を無灯火で自轉車に乘り二圓
○內鄉村小島荷馬車挽千葉省三(四五)は二十六日夜間燈火を用えず荷馬車を挽いて二圓
○內鄉村宮磐城炭礦坑夫鈴木幸助(三六)は二十三日午前十時同村御臺境地內鐵道線路地內に立入り一圓
○高久村神谷作和泉屋酒造店雇人鈴木茂(三七)は二十四日午後三時飯野村地內を取締灯なき荷馬車に乘用して二圓
○小川村上小川柵田卯八(五〇)は二十三日內鄉村御與境地內鐵道線路地內に立入り一圓
○平町紺屋町自動車營業渡邊義雄(三八)は二十三日許可なくして營業區間外たる赤井村地內を貨物自動車を運轉して五圓
○平町才槌小路自動車運轉手菊地十郎兵衛(三五)は二十五日泥除を附せざる自動車を運轉して二圓
○平町立町高橋嘉之助(六二)は二十三日午前十時內鄉村地內鐵道線路に立入り一圓
○平町田町平驛[illegible]手石井弘次(三八)は二十四日午後十時立町地內に於て佐藤仙治(三二)と共に自轉車に共乘して二圓

四倉繭の相場

四倉繭市場二十七日の出荷は八百二十六貫相場左の如し
△高値八圓、安値六圓六十錢、平均七圓三十六錢

鳴入來

けふはまた

二十八日午前十一時ごろ平町元郡會議室の縣團体事務所內に一匹の鳴が飛び込むだのを所員總動員で漸く手捕りにした上餌や水を與へて大切に飼つておくが過日は南町街路に雉態が現れ今度は鳴の飛び込みを續けざまな珍事に吉凶何れかの前兆ではないかと平署や團体事務所は此の話で持ち切りである

遷宮記念切手

平郵便局では十月二日から五日まで三日間式年遷宮祭の記念切手を發賣する

磐新塔

磐崎村藤原良太郎長女松浦とみ(二七)は平町田町藝妓屋某家方に見習ひとして雇はれてゐたが同人の弟が廿五日午前十時頃死亡したので親類の者が會葬させるために抱ね主に話をなした處例へ弟の葬式でも歸す事は出來ないと拒絕された爲め親類の者は平署に出頭し抱へ主に說諭方を願ひでたので同署では道義上から見て一時歸宅させるのが當然であるとゝみを歸宅させる樣に取計つた

石城小名濱町
清酒釀造元
銘酒 世界一
清水屋
各炭鑛御用達
小野晋平
電話六番

外科
一般外科
泌尿科
婦人科
X光線科
醫學士 海津俊一
木下寅一
院長 新妻由五郎
赤心堂病院
平町田町電四七五

靴の御新調は……今
時節柄……空前の安賣
キカイ製靴より安心なる
定評有る大塚の自製靴を
流行新型ゴロフ形
△ボックス革實用 短靴 七、五〇ヨリ 編靴 九、〇〇ヨリ
△赤革スポート 短靴 九、〇〇ヨリ 編靴 一一、〇〇ヨリ
修繕二十四時間內迅速安價
大量製產 堅い店
大塚支店製靴部
平町田町 電話七〇二番

夜間診療
胃腸專門 內科 十二指腸蟲病
梅毒專門 淋病 婦人病 皮膚病
內科部 外科部
松村胃腸性病科醫院
(平南町電話一〇七番)

北海道產の新しい豆
大福豆、青エンド、赤エンド
うづら豆、小豆
金時豆も入荷致しました
豆類、砂糖、薄利多賣主義、何卒御引立の程願上げます。
紺屋町(加納活版所西隣り)
たまき屋商店
田卷隆一